

会の沿革

HISTORY - 001

1981年

昭和56年

通産省と長野県の異業種交流事業として、商業を中心に12社で結成。
初代会長 小林俊雄(丸乙小林商店社長)、事務局長野県中小企業総合指導所でスタート。

1982年

昭和57年

月例会を各社見学、研修を目的に持ちまわりで開催。
飯網ホテルアルカディアにて「企業上場とファイナンスについて」の特別研修会実施。

1983年

昭和58年

月例会々場として三景苑に固定。
会規約の一部を改定して事務局を長野県中小企業総合指導所より会独自運営に変更、
初代事務局長に保坂清司(ケイセイシー専務)就任。

1986年

昭和61年

会員増強推進で花岡久二(一休さんのはなおか社長)、宇都宮英遠(中央タクシー社長)、倉島圭三(長野日産社長)、戸田敏行(綿半ホームエイド社長)、黒崎秀夫(くるさき社長)の入会承認される。
会員共同事業として「(株)信州コミュニケーションズ」が設立され、ポイントカードがスタート。

1988年

昭和63年

月例会々場をホテルニューナガノに移動。
女性会員加入推進で岡 正子(長野ドレメファッションスクール副校長)の入会承認される。

1989年

昭和64年(平成元年)

アオキインターナショナル東京株式市場に上場。(会員企業第1号)

1991年

平成3年

第2代会長 竹村猛志(竹風堂社長)就任。初代会長 小林俊雄(丸乙小林商店社長)相談役就任。
事務局長 保坂清司(ケイセイシー専務)留任。

1992年

平成4年

会規約を変更して一年交代制の役員職を二年とする。
会員増強で諏訪 勇(諏訪角商店社長)、久世良三(斑尾高原農場社長)、武井哲夫(武井工芸店専務)、
渡辺 誠(渡辺商事社長)入会承認される。

1993年

平成5年

第3代会長 宮内義人(ロン・都社長)就任。
事務局長 保坂清司(ケイセイシー専務)留任。

会の沿革

HISTORY - 002

1995年

平成7年

第4代会長 平野 稔(平安堂社長)就任。
事務局長 久世良三(斑尾高原農場社長)就任。

1997年

平成9年

第5代会長 伊藤良助(伊藤眼鏡店社長)就任。月例会々場をホテルナガノアベニューへ移動。
事務局長 久世良三(斑尾高原農場社長)留任。

1999年

平成11年

第6代会長 戸田敏行(綿半ホームエイド社長)就任。月例会々場をアネックス記念館に移動。
事務局長 関隆之(シューマート社長)就任。
岡 正子(岡学園 長野ファッションカレッジ校長)より休会の申出あり承認される。

2000年

平成12年

黒崎秀夫(くろさき社長)より退会の申出あり承認される。

2001年

平成13年

第7代会長 花岡久二(一休さんのはなおか社長)就任。事務局長 関隆之(シューマート社長)留任。
長野県中小企業総合指導所から組織及び名称変更して(財)長野県中小企業振興公社中小企業支援センターとなり再スタート。

2002年

平成14年

会員増強で青木茂人(酔屋亀本店社長)入会承認される。

2003年

平成15年

第8代会長 倉島圭三(長野日産社長)就任。事務局長 関 隆之(シューマート会長)留任。
月例会々場を長野駅前のサンルートホテルに移動。

2004年

平成16年

会員増強で、北村正博(システックス社長)入会承認される。
関 隆之シューマート会長退任につき岡宮秀治(シューマート社長)への会員登録変更承認される。
関 隆之(ジー・エフ長野社長)入会承認される。

2005年

平成17年

第9代会長 武井哲夫(武井工芸店社長)就任。
倉島圭三(長野日産社長)企業譲渡により退会承認される。
事務局長 関 隆之(ジー・エフ長野社長)留任。

2006年

平成18年

小林俊雄(丸乙小林商店)4C会相談役退会承認される。

2007年

平成19年

第10代会長 宇都宮恒久(中央タクシー社長)就任。事務局長 関 隆之(ジー・エフ長野社長)留任。
岡宮秀治(シューマート社長)退任につき退会承認される。
霜田 清(シューマート新社長)会員登録変更承認される。
岡 正子(岡学園トータルデザインアカデミー校長)再入会承認される。

2008年

平成20年

渡辺 誠(渡辺商事社長)より退会の申出あり承認される。

2009年

平成21年

宇都宮恒久(中央タクシー会長)会長留任。事務局長 関 隆之(ジー・エフ長野社長)留任。

2010年

平成22年

会の誕生に貢献された平野稔(平安堂会長)より退会の申出あり承認される。
事務局長 関 隆之 信州コミュニケーションズ常務取締役の会員登録変更承認される。
岡正子 エコマコ社長に会員登録変更承認される。江口光雄(サンタの倉庫社長)入会承認される。
戸田敏行(綿半ホームエイド会長)の退任と下島憲秋(同社社長)の入会が承認される。

2011年

平成23年

久世良三(サンクゼール社長)が第11代会長に就任する。
遠藤秀三郎(遠藤酒造場社長)の入会が承認される。
江口光雄(サンタの倉庫社長)より退会の申し出があり承認される。
北村正博(システックス社長)、岡正子(エコマコ社長)両名から休会の申し出があり承認される。

2012年

平成24年

中島雅之(ながの東急百貨店社長)、関幸博(ミールケア社長)、村山幸造(黒船社長)、松本亮治(たちばな社長)の入会が承認される。
諏訪勇(諏訪角商店社長)より退会の申し出があり承認される。

2013年

平成25年

青木茂人(酢屋亀本店社長)が第12代会長に就任する。

2014年

平成26年

丸田剛(あっぱるアイビー社長)、酒井志郎(酒井商會社長)の入会が承認される。
下島憲秋(綿半ホームエイド会長)と中島雅之(ながの東急百貨店社長)より退会の申し出があり承認される。

2015年

平成27年

関幸博(ミールケア社長)が第13代会長に就任する。

2017年

平成29年

関幸博(ミールケア社長)会長留任。
宇都宮恒久(中央タクシー会長)の退会と宇都宮司(同社社長)の入会の申込があり承認される。

2018年

平成30年

伊藤良助(伊藤眼鏡店社長)から退会の申出あり承認される。
岡正子(エコマコ社長)休会から復帰。
久世良三(サンクゼール会長)から退会の申出あり承認される。

2019年

平成31年(令和元年)

竹村猛志(竹風堂相談役)、宮内義人(ロン・都会長)、関幸博(ミールケア社長)、武井哲夫(武井工芸店社長)から退会の申出あり承認される。
遠藤秀三郎(遠藤酒造場社長)が第14代会長に就任する。
古木惣一郎(日成観光社長)、西原弘樹(サンジュニア社長)、原順一(有限会社アピアランス会長)の入会が承認される。
花岡久二(一休さんのはなおか会長)の退会と花岡宏樹(同社社長)の入会が承認される。

2020年

令和2年

青木茂人(すや亀社長)より退会の申し出があり承認される。
柳島良明(信越放送局次長)、大杉京子(アンジェラックス会長)、宮川岳洋(伸商機工社長)の入会が承認される。

2021年

令和3年

関隆之(信州コミュニケーションズ社長)の退会と塚田博章(同社統括マネージャー)の入会が承認される。
遠藤秀三郎(遠藤酒造場社長)会長留任。
塚田博章(信州コミュニケーションズ統括マネージャー)事務局長に就任する。
古木惣一郎(日成観光社長)から休会の申し出があり承認される。
山岸裕始(みらいく保育園代表理事)の入会が承認される。

2022年

令和4年

保坂清司(初代事務局長、ケイシイシイ相談役)から退会の申出あり承認される。